

# 教えて！ オーストラリア



## 問3

オーストラリアの利下げは、オーストラリア債券投資にマイナスですか？

## 答3

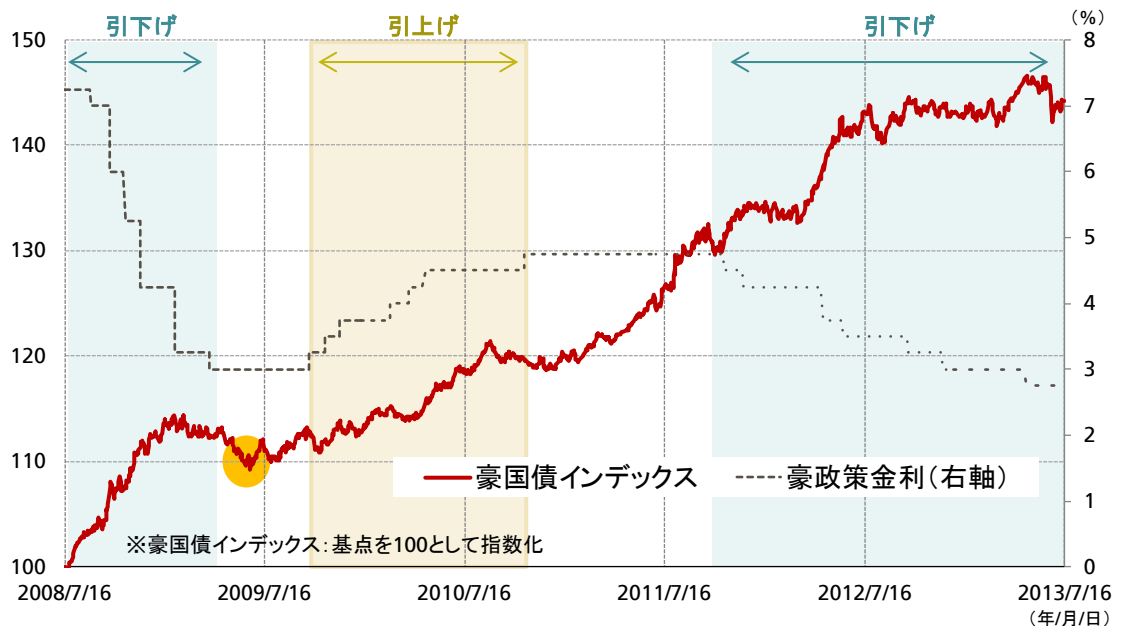
下記のチャートは、過去5年間のオーストラリアの政策金利と国債インデックスの動きです。この期間、オーストラリアの政策金利は、2008年と2011年から2回の引下げ局面と、2009年からの引上げ局面がありました。

2008年の利下げ局面では、政策金利は3%まで引下げられましたが、国債インデックスは2009年6月19日を底に、2013年7月16日にかけて約32%上昇しています。

5年間通して見た場合、政策金利の傾向に関係なく、短期的に国債インデックスが調整する場面が見られましたが、長期では国債インデックスは概ね右肩上がりで推移しています。

将来の金利動向を当てることは難しいですが、長期的に投資を行うことで、投資タイミングに関係なく、債券投資からの恩恵を享受できる可能性が高まると期待できます。

■オーストラリアの政策金利と国債インデックスの推移（2008年7月16日～2013年7月16日）



※豪国債インデックス：UBS Australia Government Index(現地通貨ベース)  
出所：UBS、ブルームバーグのデータを基に当社作成  
上記は過去のデータであり、将来を示唆・保証するものではありません。

---

## 本資料ご使用にあたってのご留意事項

投資信託のリスクおよび費用は投資信託ごとに異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面でご確認ください。

なお、以下に記載するリスクおよび費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収する各費用における最高の料率を記載しております。購入のお申込にあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。

## 投資信託のリスクについて

投資信託は株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資家の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、元本を割り込むことがあります。また、投資信託は、預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。

投資信託のリスクは投資対象資産の種類、投資制限、取引市場、投資対象国等により異なります。

※詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面をご覧ください。

## 投資信託の費用について

投資信託のご購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。

### 【直接ご負担いただく費用】

- ・購入時: 購入時手数料 上限3.675%(税抜3.50%)
- ・換金時: 信託財産留保額 上限0.7%

### 【保有期間中に間接的にご負担いただく費用】

- ・運用管理費用(信託報酬) 上限約2.45%(税込)(ファンドオブファンズの投資先ファンドの概算値を含む)
- ・その他の費用(監査報酬、有価証券売買委託手数料、信託事務の諸費用等)をご負担いただきます。

※これらの費用の額および計算方法等は、投資信託毎に異なります。詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面等にてご確認ください。

## 設定・運用は、

商号等	UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第412号
加入協会	一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

---

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できる情報をもとにUBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社によって作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。